

## 「京都市交通事業第2次アクションプログラム」実施状況（平成20年度）

平成18年6月に策定した「京都市交通事業第2次アクションプログラム」は、「京都市交通事業ルネッサンスプラン」（平成15～20年度まで）の後半3年間の行動計画として位置づけ、年度別スケジュールや目標数値等を明確にした行動計画です。

平成20年度までの3年間、掲げた24項目全ての事業に着手し、一層の経営体質の強化と市バス・地下鉄の利用促進に全力で取り組んだ結果、各事業ともほぼ年次スケジュールどおりの進捗よくが図れ、市バス事業は6年連続の黒字を計上するとともに、地下鉄事業においても、現金収支の黒字化に向け着実に前進しました。

取組項目		平成20年度の主な取組内容
<b>安全・安心・快適な市バス・地下鉄の運行</b>		
1	市バス・地下鉄の安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市バス・地下鉄事業それぞれの「安全統括管理者」のもと、事故防止の取組や防災訓練、業務の委託先事業者との定期的な会議など、安全輸送の確保に向けた様々な取組を実施</li> <li>地下鉄5駅（国際会館、松ヶ崎、北山、北大路、鞍馬口駅）に防火戸等を設置</li> <li>気象庁から配信される緊急地震速報を運行中の列車に自動的に通報するシステムを新たに導入（21年3月）</li> </ul>
2	市バス路線・ダイヤの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>20年10月のJR桂川駅の開業に伴い、市バス4系統を同駅へ接続</li> <li>21年3月の運転計画において、路線・ダイヤを改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>週末夜間輸送の増強（7系統）</li> <li>観光・通学輸送の増強（2系統）</li> </ul> </li> <li>「嵯峨嵐山駅前」停留所の新設</li> <li>交通事情やご利用状況に見合うダイヤの設定</li> </ul>
3	市バスの走行環境改善による定時性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>違法駐停車車両排除に向けて現地調査と所轄警察署への要望活動を展開</li> <li>バス専用レーン啓発のため、毎月第3金曜日に「走行環境改善・バス専用レーン啓発キャンペーン」を京都府警と連携して実施</li> <li>走行環境改善・バス専用レーンPRチラシを作成し、運転免許試験場等で配布</li> <li>お客様への特別案内活動を20年5月のゴールデンウィークと11月の観光シーズンに実施</li> </ul>
4	バス待ち環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスロケーションシステムを8基設置（20年度末 合計272基）</li> <li>バス停留所上屋を5基設置（20年度末 合計446基）</li> </ul>
5	ITの活用による情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手職員が中心となって写真や親しみのあるコメントで新鮮な話題を発信する「洛ブログ」を開始</li> <li>インターネット経路検索サービス「洛ナビ」の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話版におけるGPS検索の開始〔政令指定都市初〕（20年7月）</li> <li>定期運賃の表示を開始（21年3月）</li> </ul> </li> </ul>
6	分かりやすい案内表示への改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>京阪六地蔵駅との接続経路に乗換案内情報板を設置（21年1月）</li> <li>東西線醍醐駅2番出入口に4ヶ国語表記のシンボルマークを設置（20年12月）</li> <li>北大路バスターミナルの誘導案内表示をピクトグラムや外国語表示を交えたデザインに変更（20年10月、21年3月）</li> </ul>

取組項目		平成 20 年度の主な取組内容
<b>乗客増、収入増のための積極的な営業推進</b>		
7	地下鉄の増収・増客対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「駅ナカビジネス」の展開 ATMの設置拡大（太秦天神川駅他 8 駅 9 箇所 20 年 4 月、11 月、12 月） ワゴンによるスイーツ販売（京都駅 20 年 5 月～） ワゴンによるビール販売イベント実施（京都市役所前駅 20 年 9 月） ワゴンによる生ジュースの販売（四条駅 20 年 9 月～21 年 1 月） 災害対応型自動販売機の設置（地下鉄全駅 20 年 9 月） ベーカリーの出店（烏丸御池駅及び四条駅 21 年 2 月） 宝くじ売場の出店（烏丸御池駅 21 年 3 月）</li> <li>・クレジット機能付き IC カード「京都ぷらす OSAKA PiTaPa」を活用した地下鉄運賃還元サービスとして、KICS と連携した「レール&amp;ショッピング in 京都」及びゼスト御池と連携した「ショッピング&amp;ライド」を実施（20 年 4 月～）</li> <li>・区役所等との連携により、20 年 10 月に SANSA 右京、12 月に松ヶ崎駅構内で「朝市」を開催するとともに同年 12 月に SANSA 右京で「SANSA でサンタ」を開催</li> </ul>
8	広告料収入増対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存広告の活性化 特に稼働率の高い広告媒体 4 種類において広告料金の値上げを実施（平成 20 年 10 月～）</li> <li>・新規広告媒体の導入、拡充 四条駅阪急連絡階段ステップ広告の実施（平成 20 年 4 月～） 烏丸線ラッピングトレイン「平城遷都 1300 年祭」の運行を開始（平成 20 年 7 月～） 駅ナカ集中広告（ジャック広告）の京都・四条駅での実施（平成 20 年 7 月、12 月～）</li> </ul>
9	運賃制度の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他社局と連携した企画乗車券を引き続き発売するとともに、地下鉄と京阪大津線、嵐電がそれぞれ 1 日乗り放題の「京都地下鉄・京阪大津線 1day チケット」、「京都地下鉄・嵐電 1day チケット」、「京都嵐山・びわ湖大津 1day チケット」について、それまでの案内所等に加え、各駅窓口でも発売開始（20 年 10 月～）</li> <li>・修学旅行生を対象とした市バス全線（定期観光バス除く）、地下鉄全線と京都バス（一部路線除く）が乗り放題となる「京都修学旅行 1day チケット」を、産業観光局と連携して新たに発売（20 年 10 月）</li> <li>・市バス開業 80 周年記念事業の一つとして、夏休み期間中、市バスを大人同伴で乗車いただく場合に小学生を無料とする「市バス eco サマー」を実施（20 年 7 月 19 日～8 月 31 日）</li> </ul>
10	市民に愛される市バス・地下鉄を目指した PR 活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アートパフォーマンス in 山科駅」を毎月第 2 土曜日に開催</li> <li>・東山区（20 年 6 月 1 日）、醍醐地区（20 年 9 月 23 日）、中京区（20 年 10 月 26 日）、右京区（20 年 11 月 2 日）に参加</li> <li>・京都文化祭典 '08「市民ふれあいステージ」（20 年 10 月 18 日）に参加</li> <li>・堀川・通水桜まつり（21 年 3 月 29 日）に参加</li> <li>・20 年 9 月 14 日に姫路城東御屋敷跡公園にて開催の「第 8 回スロット KANSAI バスマつり」に参加、市バス車両の展示やグッズ販売を実施</li> <li>・市の事業に係る記念乗車券の発売 「2008 年 G8 サミット外相会合」、「京都文化祭典 2008」、「第 6 回京都学生祭典」、「源氏物語千年紀」、「DO YOU KYOTO?」、「京都・東山、嵐山花灯路」、「歩くまち・京都 地下鉄増収・増客対策チーム」（地下鉄川柳）</li> </ul>

取組項目		平成 20 年度の主な取組内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルグッズの発売 「定期観光バス事業 80 周年記念チョコロQ」(20 年 4 月), 「市バス開業 80 周年記念 バス型目覚まし時計」(20 年 9 月), 「2009 スルッと KANSAI 電車・バスカレンダー」(20 年 9 月), 「スルッと KANSAI バスマつりレジャーシート」(20 年 9 月), 「スルッと KANSAI バスミニ文具セット」(20 年 9 月), 「スルッと KANSAI スルッピーペンシル」(21 年 2 月)</li> <li>・市バス開業 80 周年記念事業の実施 夏休み期間の市バスのこども運賃無料化「市バス eco サマー」(20 年 7 月 19 日～8 月 31 日) &lt;再掲&gt; 「市バス 乗って! 乗って! キーワードラリー」(20 年 7 月 19 日～8 月 31 日) 「市バス感謝祭 in 整備工場」(20 年 12 月 7 日) 「市バスゆかりの地をめぐる記念バスツアー」(20 年 12 月 13・14 日) 記念乗車券カード, 記念グッズの発売</li> <li>・全庁的なプロジェクトチームである「歩くまち・京都 地下鉄増収・増客対策チーム」の活動に協力し, 「地下鉄川柳」, 「松ヶ崎駅・西大路御池駅利用 PR チラシの配布」, 「酒かす仕込みパン等の駅ナカでの試験発売」, 「地下鉄ペーパークラフトの配布」を実施</li> </ul>
11	観光客誘致事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洛バス及び地下鉄を利用した京都観光の案内チラシを作成し, 京都駅等で配布(20 年 5 月, 11 月)</li> <li>・修学旅行生誘致のため, 各地の中学校へダイレクトメールを送付</li> </ul>
<b>経営健全化へ向けた取組の推進</b>		
12	「管理の受委託」の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20 年度までに市バス事業規模全体の 2 分の 1 (375/750 両) を委託する年次計画を 1 年早め, 19 年 3 月に西賀茂営業所の一部を委託し, 計画を達成(その後, 20 年 1 月に 5 両増え, 計 380 両を委託)</li> </ul>
13	総人件費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託化の推進や東西線延伸事業の終了に伴う建設室の廃止, 地下鉄駅職員業務の民間委託等により, 職員数を削減</li> <li>・引き続き, 管理職手当を減額</li> <li>・休日勤務手当を廃止</li> </ul>
14	経費の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14 年度予算に対する 20 年度予算での経費削減額 11 億 33 百万円(バス 4 億 77 百万円, 地下鉄 6 億 56 百万円)</li> <li>・予算要求の留意事項として, 事務事業評価結果等も活用した事務事業の点検・見直しを各課に指示し, 効率的・効果的に予算を編成</li> </ul>
15	「生活支援路線」の効率的・効果的な確保策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活支援路線」に対する一般会計からの補助金として, 10 億 94 百万円を繰入れ</li> <li>・市内南西部の 6 系統において, 低コストで小回りの利く小型バスによる運行を継続実施</li> </ul>
16	地下鉄事業の長期収支改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅職員業務の一部民間委託化について, 20 年 4 月に新たに 3 駅(北山, 五条, 二条)を委託し, 計 10 駅に拡大</li> <li>・「地下鉄事業経営健全化計画」に基づく経営健全化出資金や運賃改定時に創設の地下鉄利用者負担緩和支援補助金等, 一般会計支援を収入</li> <li>・国の「公的資金補償金免除繰上償還」制度を活用し, 金利 5% 以上の高金利建設企業債を借換えることにより, 利息負担を軽減 20 年度借換額 167 億 53 百万円</li> <li>・第三セクターである京都高速鉄道株式会社を 20 年度末に解散させ, 同社が保有していた東西線御陵・三条京阪間の鉄道事業を京都市の直営とした。さらに, これに伴い, 一般会計から新たな出資(平成 20～34 年度 総額 180 億円)を受けることとした。</li> </ul>

取組項目		平成 20 年度の主な取組内容
17	外郭団体改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20 年度末に京都高速鉄道株式会社を解散</li> <li>・ 外郭団体を 3 団体から 2 団体へ削減したことに伴い、委託業務の見直しと派遣職員の大幅な削減を実施</li> </ul>
<b>職員の育成と案内・相談の充実によるお客様第一のサービス提供</b>		
18	お客様接遇の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市バス・地下鉄サービスアップ優秀職員モニター制度」の継続実施 20 年 1 月～12 月 延べ調査回数 9,447 回</li> </ul>
19	職員研修と「業績評価制度」の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属研修の実施（105 回 3,859 名）</li> <li>・ 実務研修の実施（57 回 305 名）</li> <li>・ 基本研修の実施（17 回 314 名）</li> <li>・ 外国人観光客接遇の向上のため出前英会話講座を実施（10 回 88 名）</li> <li>・ 人事評価制度の実施（対象職員 部長級 7 名、課長級 31 名）</li> </ul>
20	市民とのパートナーシップの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 928 件の「お客様の声」を聴取</li> <li>・ 「平成 20 年度交通局運営方針」を策定（20 年 6 月）</li> <li>・ 市バス・地下鉄事業の新たな経営健全化計画策定に当たり、計画案（骨子）への市民意見を募集（20 年 12 月～21 年 1 月）</li> <li>・ モビリティ・マネジメントの取組として、右京区太秦・南太秦学区のワークショップ（20 年 11, 12 月）に参画するとともに、21 年 3 月に学区内全世帯に配布された「太秦・南太秦おでかけマップ」に市バス・地下鉄のご利用情報等を提供</li> <li>・ 京のアジェンダ 21 と連携し、市バス・地下鉄利用者に対象飲食店で特典提供する「バスと電車で eco グルメ！」に参画（20 年 12 月～21 年 3 月）</li> </ul>
<b>人や環境にやさしい公共交通優先型の社会への貢献</b>		
21	地下鉄の延伸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東西線（二条～太秦天神川間）延伸について、車両の試運転等と並行して駅舎の建築・設備工事や出入口工事を行い、工程の適切な管理と工事の安全管理の徹底に取り組んだことで、当初の予定より 2 ヶ月早い 20 年 1 月 16 日に開通</li> </ul>
22	「歩くまち・京都」交通まちづくりプランによる TDM 施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春と秋の観光シーズンに、「東山シャトルバス」、「東山ライトアップ号」、「金閣寺 Express 号」、「銀閣寺 Express 号」等の臨時バスの運行や、東山三条（東山駅）での市バスから地下鉄への無料乗継ぎを行うなど、観光地での取組を引き続き実施</li> </ul>
23	市バス・地下鉄施設のバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノンステップバス等低床型車両を 73 両導入（20 年度末 計 623 両）</li> <li>・ 地下鉄駅の多目的トイレへの改修を 2 駅（国際会館、二条）で実施</li> </ul>
24	環境保全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天然ガスバスを 3 両導入（20 年度末 計 41 両）</li> <li>・ アイドリングストップバスを 74 両導入（20 年度末 計 640 両）</li> <li>・ バイオディーゼル燃料「みやこ・めぐるオイル」を 93 両で使用</li> </ul>